

令 和 元 年 7 月 1 日 内閣府地方創生推進室

令和元年度「SDGs未来都市」等の選定について

令和元年度「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」について、令和元年7月1日に、下記のとおり選定いたしましたのでお知らせします。

また、同日に令和元年度「SDGs未来都市」選定証授与式を開催いたしました。

記

SDGs未来都市:31都市

自治体SDGsモデル事業:10事業

以上

(添付資料)

別紙1 令和元年度 SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業に ついて

別紙2 令和元年度 SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業 選定都市一覧

別紙3 令和元年度 自治体SDGsモデル事業の概要

別紙4 地方創生に向けたSDGsの推進について

本件問合せ先:

内閣府地方創生推進室

参事官遠藤健太郎参事官補佐庄子純哉参事官補佐清水拓哉

電 話:03-5510-2175 FAX:03-3591-8801

令和元年度 SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業について

概要 中長期を見通した持続可能なまちづくりのため、地方創生に資する、地方自治体による持続可能な 開発目標(SDGs)の達成に向けた取組を推進していくことが重要。

地方創生分野における日本の「SDGsモデル」の構築に向け、引き続き、自治体によるSDGsの達成に向けた優れた 取組を提案する都市を「SDGs未来都市」として31都市を選定。また、特に先導的な取組を「自治体SDGsモデ ル事業」として10事業を選定する。※平成30年度においては「SDGs未来都市」として29都市を選定。「自治体SDGsモデル事業」として10事業を選定。 これらの取組を支援するとともに、成功事例の普及展開等を行い、地方創生の深化につなげていく。

「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」における取組(令和元年度選定)

SDGs未来都市(31)

- ①自治体のSDGs推進の ための取組
- ②SDGs達成に向けた 事業の実施

自治体SDGsモデル事業 (10)

上限3千万円/都市

- ①経済・社会・環境の三側面の統合的 取組による相乗効果の創出
- ②多様なステークホルダーとの連携
- ③自律的好循環の構築

自治体SDGs推進関係省庁タスクフォースによる 省庁横断的な支援

計画 策定

事業

実施

- 〇選定都市の事業計画策定への支援
- ○各省庁支援施策の積極的な活用等
- 〇各省庁支援施策を選定都市に集中投入
- ○取組状況フォローアップの評価基準作りへの参画

成功事例の普及展開

選定都市の成功事例を 国内外へ情報発信

- イベントの開催
- ・幅広い世代向けの 普及啓発事業 等

2030年

持続可能なまちづく ij

























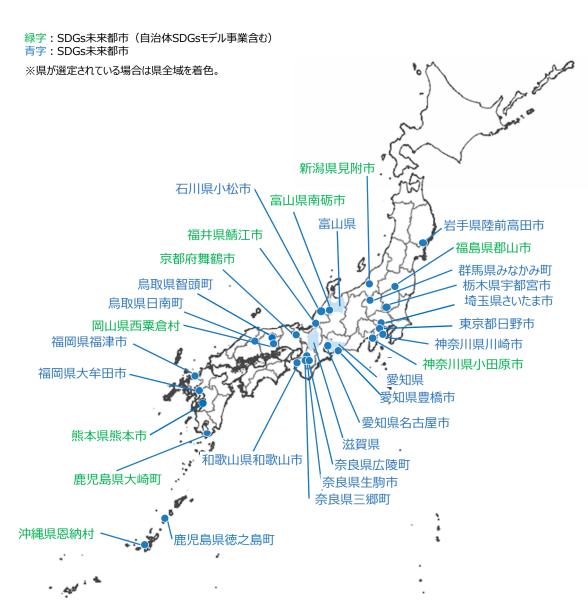
(\$)





00

令和元年度 SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業選定都市一覧



出典:国土地理院ウェブサイト(https://maps.gsi.go.jp/)の白地図をもとに作成

	都市名	提案タイトル
(自治体SDGsモデル事業含む)	福島県郡山市	SDGsで「広め合う、高め合う、助け合う」こおりやま広域圏 ~次世代につなぐ豊かな圏域の創生~
	神奈川県小田原市	人と人とのつながりによる「いのちを守り育てる地域自給圏」の創造
	新潟県見附市	住んでいるだけで健康で幸せになれる健幸都市の実現 ~「歩いて暮らせるまちづくり」ウォーカブルシティの深化と定着~
	富山県南砺市	「南砺版エコビレッジ事業」の更なる深化 〜域内外へのブランディング強化と南砺版地域循環共生圏の実装〜
	福井県鯖江市	持続可能なめがねのまちさばえ~女性が輝くまち~
	京都府舞鶴市	便利な田舎くらし『ヒト、モノ、情報、あらゆる資源がつながる"未来の舞鶴"』
	岡山県西粟倉村	森林ファンドの活用で創出するSDGs未来村
含む	熊本県熊本市	熊本地震の経験と教訓をいかした災害に強い持続可能なまちづくり
3	鹿児島県大崎町	大崎リサイクルシステムを起点にした世界標準の循環型地域経営モデル
	沖縄県恩納村	SDGsによる「サンゴの村宣言」推進プロジェクト~「サンゴのむらづくり行動記画」の高度化による世界一サンゴと人に優しい持続可能な村づくり~
	岩手県陸前高田市	ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくり
	栃木県宇都宮市	SDGsに貢献する持続可能な"うごく"都市・うつのみやの構築
	群馬県みなかみ町	水と森林と人を育む みなかみプロジェクト 2030 〜持続可能な発展のモデル地域" B R "として〜
	埼玉県さいたま市	SDGs国際未来都市・さいたま2030モデルプロジェクト 〜誰もが住んでいることを誇りに思える都市へ〜
	東京都日野市	市民・企業・行政の対話を通した生活・環境課題産業化で実現する生活価((QOL)共創都市 日野
	神奈川県川崎市	成長と成熟の調和による持続可能なSDGs未来都市かわさき
	富山県	環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先端県とやま」
	石川県小松市	国際化時代にふるさとを未来へつなぐ「民の力」と「学びの力」 ~PASS THE BATON~
S	愛知県	SDGs未来都市あいち
DGs	愛知県名古屋市	SDGs 未来都市 ~世界に冠たる「NAGOYA」~ の実現
SDGs未来都市	愛知県豊橋市	豊橋からSDGs で世界と未来につなぐ水と緑の地域づくり
都市	滋賀県	世界から選ばれる「三方よし・未来よし」の滋賀の実現
	奈良県生駒市	いこまSDGs未来都市~住宅都市における持続可能モデルの創出~
	奈良県三郷町	世界に誇る!! 人にもまちにもレジリエンスな「スマートシティSANGO」の実現
	奈良県広陵町	「広陵町産業総合振興機構(仮称)」の産官学民連携による安全・安心で み続けたくなるまちづくり
	和歌山県和歌山市	持続可能な海社会を実現するリノベーション先進都市
	鳥取県智頭町	中山間地域における住民主体のSDGsまちづくり事業
	鳥取県日南町	第一次産業を元気にする ~SDGsにちなんチャレンジ2030~
	福岡県大牟田市	日本の20年先を行く10万人都市による官民協働ブラットフォームを活用した「 い」「学び」「共創」の未来都市創造事業
	福岡県福津市	市民共働で推進する幸せのまちづくり〜津屋崎スタイル〜を世界へ発信
	鹿児島県徳之島町	あこがれの連鎖と幸せな暮らし創造事業

令和元年度 SDGS未来都市選定都市一覧

No.	提案者名	提案全体のタイトル
1	岩手県陸前高田市	ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくり
2	福島県郡山市	SDGsで「広め合う、高め合う、助け合う」こおりやま広域圏 ~次世代につなぐ豊かな圏域の創生~
3	栃木県宇都宮市	SDGsに貢献する持続可能な"うごく"都市・うつのみやの構築
4	群馬県みなかみ町	^{も り} 水と森林と人を育む みなかみプロジェクト 2030 ~持続可能な発展のモデル地域" В R "として~
5	埼玉県さいたま市	SDGs国際未来都市・さいたま2030モデルプロジェクト 〜誰もが住んでいることを誇りに思える都市へ〜
6	東京都日野市	市民・企業・行政の対話を通した生活・環境課題産業化で実現する生活価値 (QOL)共創都市 日野
7	神奈川県川崎市	成長と成熟の調和による持続可能なSDGs未来都市かわさき
8	神奈川県小田原市	人と人とのつながりによる「いのちを守り育てる地域自給圏」の創造
9	新潟県見附市	住んでいるだけで健康で幸せになれる健幸都市の実現 ~「歩いて暮らせるまちづくり」 ウォーカブルシティの深化と定着~
10	富山県	環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先端県とやま」
11	富山県南砺市	「南砺版エコビレッジ事業」の更なる深化 〜域内外へのブランディング強化と南砺版地域循環共生圏の実装〜
12	石川県小松市	国際化時代に ふるさとを未来へつなぐ「民の力」と「学びの力」 ~PASS THE BATON~
13	福井県鯖江市	持続可能なめがねのまちさばえ〜女性が輝くまち〜
14	愛知県	SDGs未来都市あいち
15	愛知県名古屋市	SDGs 未来都市 〜世界に冠たる「NAGOYA」〜 の実現
16	愛知県豊橋市	豊橋からSDGs で世界と未来につなぐ水と緑の地域づくり
17	滋賀県	世界から選ばれる「三方よし・未来よし」の滋賀の実現
18	京都府舞鶴市	便利な田舎ぐらし『ヒト、モノ、情報、あらゆる資源がつながる"未来の舞鶴"』
19	奈良県生駒市	いこまSDGs未来都市~ 住宅都市における持続可能モデルの創出~
20	奈良県三郷町	世界に誇る!! 人にもまちにもレジリエンスな「スマートシティSANGO」の実現
21	奈良県広陵町	「広陵町産業総合振興機構(仮称)」の産官学民連携による安全・安心で住み続けたくなるまちづくり
22	和歌山県和歌山市	持続可能な海社会を実現するリノベーション先進都市
23	鳥取県智頭町	中山間地域における住民主体のSDGsまちづくり事業
24	鳥取県日南町	第一次産業を元気にする ~SDGsにちなんチャレンジ2030~
25	岡山県西粟倉村	森林ファンドの活用で創出するSDGs未来村
26	福岡県大牟田市	日本の20年先を行く10万人都市による官民協働プラットフォームを活用した「問い」「学び」「共創」の未来都市創造事業
27	福岡県福津市	市民共働で推進する幸せのまちづくり ~津屋崎スタイル~を世界へ発信
28	熊本県熊本市	熊本地震の経験と教訓をいかした災害に強い持続可能なまちづくり
29	鹿児島県大崎町	大崎リサイクルシステムを起点にした世界標準の循環型地域経営モデル
30	鹿児島県徳之島町	あこがれの連鎖と幸せな暮らし創造事業
31	沖縄県恩納村	SDGsによる「サンゴの村宣言」推進プロジェクト ~「サンゴのむらづくり行動計画」の高度化による世界一サンゴと人に優しい持続可能な村づくり~

令和元年度 自治体SDGsモデル事業選定都市一覧

No.	提案者名	自治体SDGsモデル事業タイトル
1	福島県郡山市	SDGs 体感未来都市 こおりやま
2	神奈川県小田原市	人と人とのつながりによる「いのちを守り育てる地域自給圏」の創造
3	新潟県見附市	「歩いて暮らせるまちづくり」ウォーカブルシティの深化と定着
4	富山県南砺市	「南砺版エコビレッジ事業」の更なる深化 〜域内外へのブランディング強化と南砺版地域循環共生圏の実装〜
5	福井県鯖江市	女性が輝く「めがねのまちさばえ」 ~女性のエンパワーメントが地域をエンパワーメントする~
6	京都府舞鶴市	『ヒト、モノ、情報、あらゆる資源が つながる"未来の舞鶴"』創生事業
7	岡山県西粟倉村	森林ファンドと森林RE Designによる百年の森林事業Ver.2.0
8	熊本県熊本市	熊本地震の経験と教訓をいかした地域(防災)力の向上事業
9	鹿児島県大崎町	大崎システムを起点にした世界標準の循環型地域経営モデル
10	沖縄県恩納村	「サンゴの村宣言」S D G s プロジェクト

※都道府県・市区町村コード順

福島県郡山市

SDGs 体感未来都市 こおりやま

「健康」をキーワードに「経済」、「社会」、「環境」において、持続可能なまちづくりに向けた先導的取組を実施。 オープンデータを活用した広域医療等の分析(EBPM)及びICTを活用した健康寿命延伸対策(EBM)を進めることで 医療・健康産業の集積、健康寿命延伸・医療費抑制、環境負荷の少ない快適な生活環境の確保等を進める。

<取組課題>

医療・健康産業の集積・振興 ~医工連携を核とした先進産業都市~









経済

● 産業イノベーション事業(産官学 金労言士の連携コーディネート、

農業

産業

医工連携事業化コンサルティング) ● 多彩な市民とともに歩む新たな

農業プロジェクト事業 (アグリテック、農福連携)



ふくしま医療機器開発支援センター



国立環境研究所福島支部



産総研 福島再生可能 エネルギー研究所

三側面をつなぐ統合的取組

「知の結節点 におりやま 「全世代健康都市圏 |創造事業

オープンデータを活用した健康づくり・ 牛活習慣病予防対策、広域医療 の分析 (EBPM)

ICT を活用した科学的根拠に基づく 保健指導による健康寿命延伸対策 の推進 (EBM)

「全世代健康都市圏」

の創造

「知の結節点」として 「こおりやま広域圏」に 拡大

環境









環境学習

- 地球温暖化対策事業
- エネルギー地産地消推進事業 エネルギー
 - 既存施設を活用した体感型環境 学習施設の充実

<取組課題>

健康寿命の延伸、医療費の抑制 ~みんなが健康、みんなが担い手~

社会





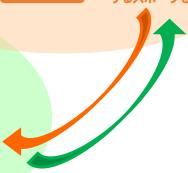


- 保健所と地域が一体となった健康 推進
- 産医官連携によるがん検診の受診 促進、糖尿病対策
- 簡易型自記式食事歴法質問票に よる実態調査・分析

スポーツ

医療•健康

● 科学的知見に基づき、プロが指導 するスポーツを通じた健康づくり



<取組課題>

環境負荷の少ない快適な生活環境の確保 ~良好な環境は成長・発展の源泉~

神奈川県小田原市

人と人とのつながりによる「いのちを守り育てる地域自給圏」の創造

恵まれた自然環境、地勢条件、歴史的に育まれてきた技や人、地域の絆などの社会的資源を強みとし、「おだわら市 民学校」によるひとづくりやつながりの強化を中核に、ポイント循環による「つながりの見える化」、Society5.0の実証研 究を通じて、「いのちを守り育てる地域自給圏」を創造し、豊かで、安全で、持続可能な暮らしを実現する。

<取組課題>

一次産業の基盤強化と暮らしへの定着 観光(交流)による地域活性化



経済

ものづくり

農林水産業

- 伝統的な地場産業の支援と育成
- 高技術・高品質のものづくりのPR 促進
- 有機農業モデルタウンの取組
- 「木づかい」のまちづくり
- 農産物・水産物の地産地消とブラ ンド化



農産物のブランド化



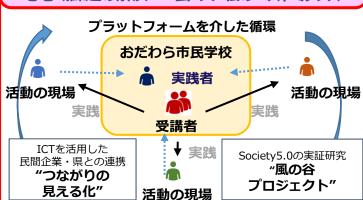
再生可能エネルギーの取組

<取組課題>

豊かな自然を次の世代へ引き継ぐ エネルギーの地域自給

三側面をつなぐ統合的取組

"現場での学びと実践の循環"による人材・担い手育成 と地域課題の解決 → 公・共・私のベストミックス



環境

環境共生

保全活動



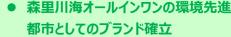












- 地域の環境再生・保全活動の推進
- 森林の再生 環境再牛•
 - 里地里山の再生と整備
 - 水辺環境の整備促進

エネルギー ■ エネルギーの地域自給に向けた取組

<取組課題>

地域コミュニティ組織の強化 地域資源を生かした協働の推進

社会







地域福祉

- ケアタウンの推進
- コミュニティ
- スクールコミュニティの形成
- 地域コミュニティの強化
- プロダクティブ・エイジングの推進



いのちを守り育てる 地域自給圏 生活を支える ケア(医を含む)

妻材と技術



新潟県見附市

「歩いて暮らせるまちづくり」ウォーカブルシティの深化と定着

出かけたくなる場所の創出や歩きたくなる歩行環境の整備、都市のコンパクト化、また、過度な自動車依存からの脱却 を目指す公共交通の整備、自然災害への備えを統合的に進めることで、「歩いて暮らせるまちづくり」を市民に定着させ、 「住んでいるだけで健康で幸せになれる健幸都市」を実現する。

三側面をつなぐ統合的取組

「歩いて暮らせるまちづくり」

ウォーカブルシティの深化と定着

の活用検討

・地域への浸透 自然災害の強靭化

〈取組課題〉

出かけたくなる場所の創出







経済

まちづくり

健康

- まちなか賑わい創出事業
- 総合型地域スポーツクラブ事業 補助



ウォーキング イベントの様子



コミュニティバス (市街地内を循環運行)



グリーンスローモビリテイ . 交流で賑わい創出













- デマンド型乗り合いタクシー運行事業
- バス停サイン更新事業
- 防災訓練の実施 自主防災組織補助事業
- 防災スクール事業 ハザードマップ 改訂版の作成

<取組課題>

<取組課題>

歩行環境の整備 都市機能の集約、街のコンパクト化

社会











交通 健康

環境保全

まちづくり

- 車両誘導看板設置事業
 - 健幸ウォーキングコース路面標示
 - 市民協働による植栽活動 (環境面 の取組としても整理)
 - みつけイングリッシュガーデンの管理運 営(環境面の取組としても整理)
 - 立地適正化計画策定事業
 - 空き家バンク

環境





·CO₂削減

ウエルネスタウンの

拠点化整備













交诵

・歩行量の増加

・健康寿命の延伸

学校教育を通じた

子どもたちへの

SDGs教育





自動車依存からの脱却 自然災害への備え



市民協働による植栽活動の様子

富山県南砺市

「南砺版エコビレッジ事業」の更なる深化 ~域内外へのブランディング強化と南砺版地域循環共生圏の実装~

南砺市の土徳文化を次世代に継承する取組みや支え合いによるまちづくりの取組を通して、地域資源の循環や 相互補完が可能となる人材育成プログラムや住民参加による自治組織形成を促進するとともに、これらを基金運営等 により支えることで、SDGsおよび「南砺版エコビレッジ事業」を更に深化させ「一流の田舎」を実現する。

<取組課題>

「やりたいこと」が「できる」地域を実現



産業創出

人材育成

森林

経済

「オーガニック街道」の整備

● 伝統産業のリデザイン 「南砺ブランド商品開発支援」

● クリエイター育成マッチング事業

● 森林資源を活用したビジネス再生

エネルギー

廃棄物

三側面をつなぐ統合的取組

文化と教育の連携・住民自治の再構築 コミュニティファンドの創出

土徳文化

文化伝承や 発信による 地域の誇り醸成

相互補完·循環

南砺幸せ 未来基金

活動資金や 人的ネットワーク等 を支援

小規模 多機能自治

住民参加による 真の住民自治の 再構築

社会

観光・歴史

医療•介護

住宅

教育

世界遺産合掌造り家屋の保存、茅場再生

<取組課題>

心豊かで安心して暮らすことができる社会を実現

ひとと出会い、ひとと深くつながるまちを実現

- 地域の助け合いを育む 「地域包括ケアシステム」
- 新たな暮らし方の提案 「エコビレッジ住宅ゾーン事業」
- 小規模校や複式学級すべての人に教育を 「学校間をつなぐ遠隔協働学習 |















クリエータープラザ (ブランド商品開発、クリエーターの拠点)



森林資源エコシステム (ペレット工場)

環境



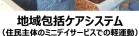
● 森里川海の連携「マイクロプラスチック、海洋汚染抑制」

● いのちの森をつなぐ次世代人材の育成 人材育成 「森の学校」「森の保育園」の創設

<取組課題>

地域資源を活用・循環させ ワクワクする「懐かしい未来を実現」





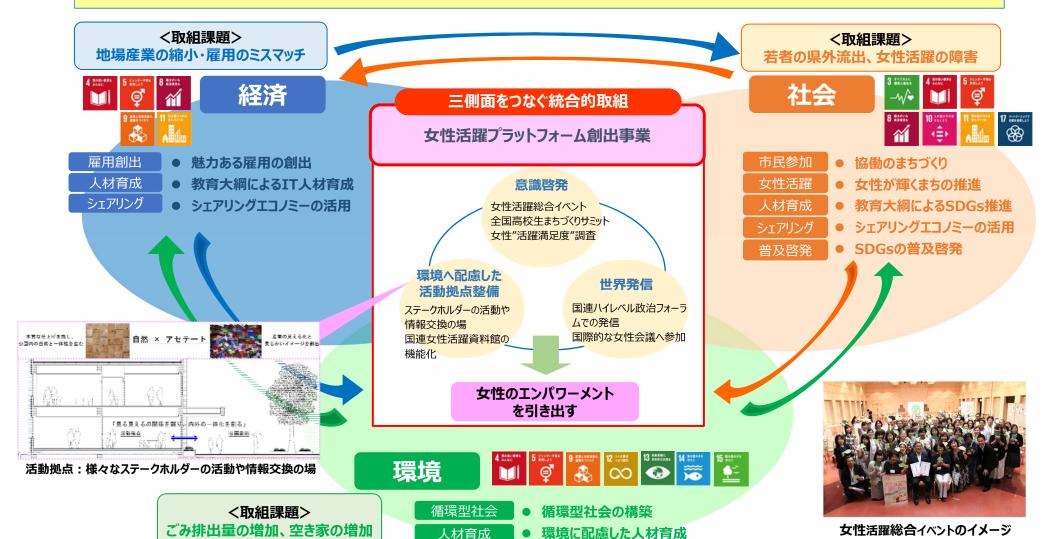




福井県鯖江市

女性が輝く「めがねのまちさばえ」~女性のエンパワーメントが地域をエンパワーメントする~

女性のエンパワーメントを生み出すために、居場所と出番の創出および障害となるインポスター症候群等の研究・対策に取り組む。鯖江市の女性活躍推進施設である「夢みらい館・さばえ」の一部を活動拠点とし、様々なステークホルダーの活動や情報交換を支援するとともに、国内外に向けて鯖江市の取り組み状況を発信することで横展開も促進。



京都府舞鶴市

『ヒト、モノ、情報、あらゆる資源がつながる"未来の舞鶴"』創生事業

AIやICTなど先進技術の活用により日常生活の利便性向上や都市機能の効率的利用、ヒトとヒトのつながり強化、社 会的弱者等の社会参画等を進め、新たな価値創造によりまちの持続可能性を高める「舞鶴版Society5.0」を推進し、 未来型の便利ないなか暮らし『ヒト、モノ、情報、あらゆる資源がつながる"未来の舞鶴"』を実現。

<取組課題>

地域経済の維持・拡大





人流·物流





● 京都舞鶴港スマート・エコ・ エネルギーポート化推進事業

● 万願寺甘とう等におけるスマート 農業の展開

行政運営

農業

● AIやRPAを活用した行政の 効率化

エネルギー

循環型社会

適応策



スマート・エコ・エネルギーポート化による 京都舞鶴港の価値の拡大

三側面をつなぐ統合的取組

舞鶴版Society5.0実装推進事業

- ① J & J との連携による舞鶴版 S D G s P R 促進事業
- ②共助による移動手段(meemo(仮称))導入による 実証実験

資源をつなぎ活用する ことで自立と共生を促進

決済データ/交通データ/ 再エネデータ/マッチングデータ等

① 1 & 1との連携による舞鶴版 SDGsPR促進事業

コワーキングスペース(㈱】& 】事業 創造が運営) による交流やIT人材育



②共助による移動手段等

オムロンソーシアルソリューションズ(株)と 進める乗り合い等マッチングサービスに よる繋がる機会の創出

導入による実証実験

連携

プログラミング教室

<取組課題>

安心して生活できる環境の維持









交诵

人づくり

● 農福連携を通じた社会的 弱者の社会参画促進

● MaaS 導入のまち

● 舞鶴版Society5.0 を担う 未来創造人材の育成









赤れんがパークに設置した コワーキングスペース

環境







- Re100 宣言(再生可能エネルギーの地産地消実現)
- ICTの活用による循環型社会形成の推進
- 産官学連携による防災・減災システム導入

<取組課題>

舞鶴版「地域循環共生圏 |の創造

岡山県西粟倉村

森林ファンドと森林RE Designによる百年の森林事業Ver.2.0

森林信託事業による森林の集約化や、森林経営にそぐわない民有林について経済価値を判定した上での公有林化等 を通し、地域全体の森林価値の最大化と最適化を目指す。資金調達にあたっては森林ファンドを組成するとともに、投 資家を関係人口として位置づけ巻き込むことで、地域の持続可能性を向上させる事業にも好影響を与える。

<取組課題>

木材安定供給 森林資源平準化



関係人口

森林



経済

移住+起業 □ーカルベンチャー(移住+起業)

基幹宿泊施設(関係人口拠点)

● 森林関係事業(拡大+安定化)

定住しなくて、 いいんです。墨

ローカルベンチャー

村産材を使った ローカルベンチャー製品

三側面をつなぐ統合的取組 森林ファンドと森林RE Designによる 百年の森林 Ver.2.0 森林ファンド 森林価値 最大化 利益の 利益の 森林Re Designによる リターン リターン 村有林化 山林 レジリエンス 森林施業 間伐·皆伐 強化 再生可能 ローカルベンチャー 森林信託! エネルギー利用 拡大 村有林拡大による 森林 森林事業 最適化 自然林更新·経済林効率化 拡大

関係人口拡大 レジリエンス強化

〈取組課題〉

社会







福祉•教育

● ソーシャルビジネスローカルベン チャー(福祉・教育等)

防災•減災

● 天然林化防災機能(レジリエ ンス強化)

人材育成

● さとのば大学 ローカル研究所







温泉施設薪ボイラー

熱エネルギーセンター チップボイラー

環境

森林









エネルギー 再生可能エネルギー事業

● 百年の森林構想 森林信託

● 里山経済林

<取組課題>

環境林拡大

森林資源の多様化・効率化

能本県能本市

熊本地震の経験と教訓をいかした地域(防災)力の向上事業

平成28年に発生した熊本地震での経験をいかし、自主自立のまちづくりを行う「地域主義」という基本理念にもとづいた 「地域(防災)力の向上事業」により地域単位の防災力を高めるとともに、地域エネルギーの地産地消、EVによる電 力供給、EVバスの導入促進等によりエネルギー(電力)を核としたライフラインの強靭化を促進。

<取組課題>

新しい熊本の成長をけん引する 地域経済の活性化









農業

- 日本一の園芸産地づくりの推進
- くまもと食の復興 P R・ブランド
- エネルギー
- ヘルスケア

観光

- 化や地産地消の推進
- E V バスをはじめとする新産業 の創出支援
- 医工連携によるヘルスケア産業 の振興
- 自然環境や歴史施設、復興渦 程をいかした観光の振興

三側面をつなぐ統合的取組

ライフライン強靭化プロジェクト

ごみ焼却施設の電力・余 熱利用で健康増進施設 運営→地域活性化 (災害時は避難所)

1地域エネル ギーの地産地 消の発展

自立分散型エネルギー システムで電気料金削減

地域エネルギー会社

②EVの電力供 給に係る官民 連携事業

防災・環境意識の向上 (災害時は避難所等で電力供給)

EV充電拠点 平時/災害時併用 ③EVバスの導 入促進事業

> 産官学による中古バスのEV化 による新産業創出 (災害時は避難所等で電力供給)

低炭素化・大気汚染の低減

<取組課題>

災害時に力を発揮する 地域コミュニティの活性化

社会









病院など

健康

- 健康を軸とした自主自立のまちづくり
 - 避難所運営委員会設置と防災士養成
 - 学校での防災教育、ESDの推進
 - 災害時要援護者対策と地域包括ケア の構築
 - 基幹公共交通軸の強化とバス路線網 再編

自営線

EV充電

拠点



復旧中の熊本城

〈取組課題〉

自然環境をいかした 防災・減災対策の強化



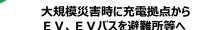












環境



- 地下水の質・量の保全と地域循環
- マンホールトイレの設置等による避難所環境の向上
- 防災•減災 ● 官民連携による防災井戸や電力の確保

鹿児島県大崎町

大崎システムを起点にした世界標準の循環型地域経営モデル

大崎システムを起点とした世界の人口一万人地域で応用可能な循環型地域経営モデルの確立に向けて、手間がかかるリサイクル、産業の担い手不足、多文化共生社会への対応等の課題解決アプローチとして国際化、地域内外連携、人材育成を図る。そのための統合的取組として多様性のある人材を集めてSDGs版総合戦略策定等の事業をおこなう。

<取組課題>

リサイクルビジネスの更なる国際展開







経済

人材育成

● 地域に人の流れを呼び込む 人材育成・研修事業

女性活躍

● 女性の社会進出をサポートする小商い起業支援事業

多文化共生

● 多文化共生社会のしごと推 進事業



SDGs版総合戦略策定の様子

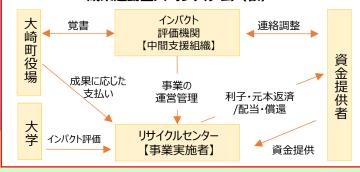
- ・「世界標準、大崎」をコンセプトに,女性・若者・ 外国人等の多様性のある住民の参加
- ·SDGsの目標年次2030年に町の中心的な役割を担う40歳以下の住民参画によるSDGsの推進普及

三側面をつなぐ統合的取組

大崎システムを起点にした世界標準の 循環型地域経営モデル

- ①SDGS版大崎町総合戦略の策定
- ②廃棄物分野ソーシャルインパクトボンド調査事業
- ③「国際しごと・人材育成センター(仮)|設立支援事業

成果連動型大崎システム(仮)



環境

リサイクル

国際連携





- ゴミ集積所デザイン事業
- 「もっと楽に」「もっと世界とつながる」リサイクル機材開発事業
- 使用済み紙おむつの再資源化事業の社会的インパクト調査
- リサイクルでつながるインドネシアとの自治体連携モデル事業

<取組課題>

リサイクル、ゼロウェイスト、エネルギーの地産地消

〈取組課題〉

教育、多文化共生社会の実現

社会







教育

男性育児

多文化共生

インパクト 評価

国際展開

- 公教育を補完する子どもキャリア サポート
- 男性育児参加応援モデル事業
- 多文化共生センター、多文化共 生住宅整備
- ウェルネス向上事業と社会インパクト評価調査
- リサイクル起点で世界とつながる グローバル教育事業
- 海外研修生・実習生対象の日本 語学校設立支援事業



インドネシアとの連携

沖縄県恩納村

「サンゴの村宣言 ISDGsプロジェクト

サンゴをはじめとする豊かな自然環境の保全により、観光産業の高付加価値化を図り、その収益を村民に還元する仕 組みを構築する。サステナブルツーリズムの実現や、将来世代の育成と全員参加型社会の実現、サンゴなど豊かな自然 あふれる社会の実現に向けて各主体が連携するサステナビリティ・ハブ導入事業で相乗効果を生み出す。



三側面をつなぐ統合的取組

サステナビリティ・ハブ導入事業

・雇用の創出 経済 ・豊富な労働力の活用

サステナブルツーリズム ・ローカル認証制度

サステナビリティ・ハブ 導入事業

連携

マネージメント

Green Fins 事務局 (観光推進)

社会

研究機関の啓発・ 住民の能力開発

> ・環境を生かした様々 な社会企画の実施

- サスティナビリティ研究 を通した環境の保全
- ・ユニバーサルツーリズ ムの実施と発信

<取組課題>

将来世代の育成と全員参加型社会の実現

社会















研究

観光

世界一のサステナビリティ研究機関・ 沖縄科学技術大学院大学(OIST) による村民や将来世代への啓発活動

女性活躍

女性の活躍推進事業

ユニバーサルツーリズムの推進



「こどもかがく教室2018」

(OIST)



養殖サンゴの植え付け

環境

研究•調查

環境保全

交通

エネルギー

環境

環境保全の推進

8









- Green Fins の導入
- サンゴの保全のための企業協賛事業
- 持続的なまちづくり推進税 まちづくり
 - 非化石燃料交通機関の整備
 - 再生可能エネルギーを用いたライフスタイル の普及推進

・キャラクター「Sunna(さんな)ちゃん」

〈取組課題〉

サンゴなど豊かな自然あふれる社会の実現

地方創生に向けたSDGsの推進について







































内閣府地方創生推進事務局

SDGs(持続可能な開発目標)

- ○2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。
- ○<u>「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会</u>の実現のための2030年を年限とする17の国際目標(その下に169のターゲット, 232の指標が決められている)。
- 1.普遍性

先進国を含め、全ての国が行動

2.包摂性

人間の安全保障の理念を反映し、「誰一人取り残さない」

3.参画型

全てのステークホルダーが役割を

4.統合性

経済・社会・環境に統合的に取り組む

5.透明性

定期的にフォローアップ

【8つの優先課題と具体的施策】

①あらゆる人々の活躍の推進

- ③成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
- ⑤省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会

⑦平和と安全・安心社会の実現

DEVELOPMENT GALS











00















- ②健康・長寿の達成
- ④持続可能で強靭な国土と質の高いインフラの整備
 - ⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
 - ⑧SDGs実施推進の体制と手段

SDGs実施に関する国内基盤の整備及び政府の具体的取組、今後の発信・展開

2015年 〔第1回会合〕SDGs推進本部設置 2016年5月 総理を本部長、官房長官・外務大臣を副本部長、全閣僚を構成員とするSDGs推進本部設置 12月 [第2回会合] [SDGs実施指針] 策定 2017年6月 〔第3回会合〕 『ジャパンSDGsアワード』創設 〔第4回会合〕 『SDGsアクションプラン2018』 決定, 12月 第1回「ジャパンSDGsアワード」の実施 〔第5回会合〕『拡大版SDGsアクションプラン2018』決定 2018年6月 〔第6回会合〕 『SDGsアクションプラン2019』 決定, 12月 第2回「ジャパンSDGsアワード」の実施 2019年6月 [第7回会合] 『拡大版SDGsアクションプラン2019』決定 12月 『SDGs 実施指針』改訂 2020年以降 2030年までにSDGsを達成

2015年9月

SDGsを採択した国連サミット

安倍総理から、SDGs実施に最大限取り組む旨を表明

2016年5月

G 7 伊勢志摩サミット

SDGs採択後初のG7サミットとして国内外の実施にコミット

2017年7月

国連ハイレベル政治フォーラム

(閣僚級、ニューヨーク) 日本の「自発的国家レビュー」発表

2019年

G20大阪サミット(6月)

国連ハイレベル政治フォーラム

(閣僚級, 7月, ニューヨーク)

TICAD7 (8月)

国連ハイレベル政治フォーラム

(首脳級, 9月, ニューヨーク)

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会

2025年大阪・関西万博の開催

これら取組・発信を通じて・・・

- ◆一層の普及・啓発活動を通じて、全国津々浦々までSDGSの認知度を上げる。
- ◆SDGsを具体的な行動に移す企業・地方を、政府の各種ツールを活用して後押し。
- ◆官民のベストプラクティスを通じて得られたSDGs推進の理念・手法・技術を、国内外に積極展開。

<u>SDGsが創出する市場・雇用を取り込み</u>つつ、<u>国内外のSDGsを同時に達成</u>し、<u>日本経済の持続的な成長に</u>つなげていく。

(参考) 『拡大版SDGsアクションプラン2019』のポイント

- 日本は、豊かで活力のある「<u>誰一人取り残さない」社会を実現するため</u>、一人ひとりの保護と能力強化に焦点を当てた「人間の安全保障」 <u>の理念に基づき、世界の「国づくり」と「人づくり」に貢献。SDGsの力強い担い手たる日本</u>の姿を国際社会に示す。
- 国内実施・国際協力の両面において、次の3本柱を中核とする「日本のSDGsモデル」をG20大阪サミット、TICAD7、SDGサミット等の機会を活用して、国際社会に共有・展開。その上で、本年中にこれらの各種取組を統合・発展させる形で『SDGs実施指針』を改訂。

I. SDGsと連動する「Society 5.0」の推進

ビジネス

- ▶ 『SDGs経営イニシアティブ』に基づき策定した「SDGs経営ガイド」、TCFD*に係るガイダンス等で企業のSDGsの取組を促進、ESG投資の呼込みを後押し。・☆塚剛連財務情報開示タスクフォース
- ▶ <u>中小企業</u>のSDGs取組強化のための関係団体・地域, 金融機関との連携を強化。
- ► SDGsビジネスの<u>国際的なルールメイキン</u> グに貢献すべく官民連携を強化。

科学技術イノベーション(STI)

- ► G20にて「ロードマップ策定のための基本 的考え方」を発表。各国のロードマップ策定 を支援。
- ▶ STI for SDGsプラットフォームを構築。
- ▶STI分野の「人づくり」, 国際共同研究・STI の社会実装の強化。

II. SDGsを原動力とした地方創生, 強靱かつ環境に優しい魅力的なまちづくり

地方創生の推進

- ▶ <u>SDGs未来都市</u>(今年度分近日決定), <u>地方創生SDGs官民連携プラットフォーム</u>を通じ た民間参画の促進, <u>地方創生SDGs金融</u>を通じ た「自律的好循環」の形成。
- ▶ <u>2020年東京オリンピック・パラリンピック競技</u> 大会, <u>2025年大阪・関西万博</u>の運営, 開催を 通じたSDGs推進。

強靭な循環共生型社会の構築

- ► 「海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」・「プラスチック資源循環戦略」をそれぞれ策定。
- ▶ 地域循環共生圏づくりに取り組む35団体選定。
- ▶「パリ協定長期成長戦略」の策定・実施。
- ▶ <u>防災分野の「人づくり」</u>(<u>4年間で8万5千人</u>の世 界の強靱化に向けた人材育成)

III. SDGsの担い手として 次世代・女性のエンパワーメント

次世代・女性のエンパワーメント

- ▶「次世代のSDGs推進プラットフォーム」 の内外での活動を支援。
- ▶WAW!・W20において安倍総理から途上国の女性への教育支援(3年間で40 0万人)を表明。

「人づくり」の中核としての保健、教育

▶ <u>UHC*</u>推進, 国際的な保健課題の解決 に貢献するため, <u>グローバルファンド</u>への 増資を含め支援を実施。

*ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ

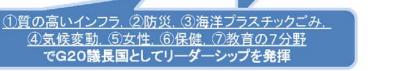
▶ 「教育×イノベーション」(3年間で900 万人の子ども・若者支援)



2019年6月 G20大阪サミット

2019年8月 TICAD7

2019年9月 SDGサミット 2019年12月 「SDGs実施指針」 改訂







地方公共団体における持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取組の推進

◆まち・ひと・しごと基本方針2019(令和元年6月21日閣議決定) ※抜粋

○さらに、第2期の地方創生においては、持続可能な開発目標(SDGs)の理念(「誰一人取り残さない」社会の実現)を踏まえ、 SDGsを原動力とした地方創生の推進に向け、地方公共団体のみならず、民間企業、金融機関などの多様なステークホルダーにおける 一層の浸透・主流化を図る。その上で、全国の地方公共団体等が地域課題解決に向けた取組を推進するに当たり、経済・社会及び環境の統合的向上に取り組むことで相乗効果を創出することが期待されることから、多様なステークホルダーの連携による地方創生SDGsに向けた「自律的好循環」の形成を進めていく。

1 地方公共団体におけるSDGsの普及促進活動の展開

- 国際的なフォーラムの開催や国際会議などの機会を捉え、都市間ネットワークの形成を支援
- 地方創生に向けた日本の「SDGsモデル」を国内外に発信

2 地方公共団体によるSDGs達成のためのモデル事例の形成

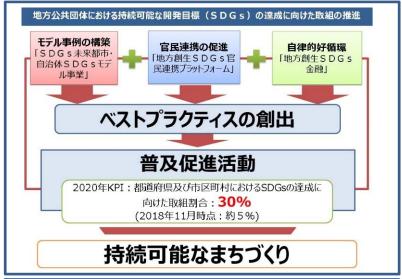
- 引き続き地方公共団体によるSDGsの達成に向けた取組を公募し、都市・地域を選定
- 既に選定した都市も含め、関係省庁により強力に支援し、モデル事例を形成

3 「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」を通じた民間参画の促進

- 「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」について、より多くのステークホルダー が参画しやすくなるよう検討を行う
- SDGsの達成に向けたサステナブル・ツーリズム(持続可能な観光)の考え方についても推進を図る

4 「地方創生SDGs金融」の推進

- 多様なステークホルダーの連携による地方創生SDGsに向けた「自律的好循環」の形成
- 資金の流れを地域事業者や地域経済に還流させ、地方創生につながる「地方 創生SDGs金融」の先進的取組事例の調査・検討や、その普及展開を図る





地方公共団体における持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取組の推進

モデル事例の構築

「SDGs未来都市・ 自治体SDGsモデ ル事業」



官民連携の促進

「地方創生SDGs官 民連携プラットフォーム」



地方創生SDGs 金融

自律的好循環の形成によるベストプラクティスの創出

普及促進活動

2020年KPI:都道府県及び市区町村におけるSDGsの達成に

向けた取組割合: 30%

(2018年11月時点:約5%)

持続可能なまちづくり

地方創生における自治体SDGs推進の意義

- ○地方創生の深化に向けては、**中長期を見通した持続可能なまちづくりに取り組むこと**が重要
- ○**自治体におけるSDGsの達成に向けた取組は、地方創生の実現に資するもの**であり、その取組を推進することが必要

自治体 SDGsの推進

- ✓ 将来のビジョンづくり ✓ 関係者(ステークホルダー)との連携
- ✓ 体制づくり

- ✓ 情報発信と成果の共有
- ✓ 各種計画への反映
- ✓ ローカル指標の設定

経済

三側面を統合する施策推進

社会

環境

人々が安心して暮らせるような、持続可能なまちづくりと地域活性化を実現 地方創生成功モデルの国内における水平展開・国外への情報発信

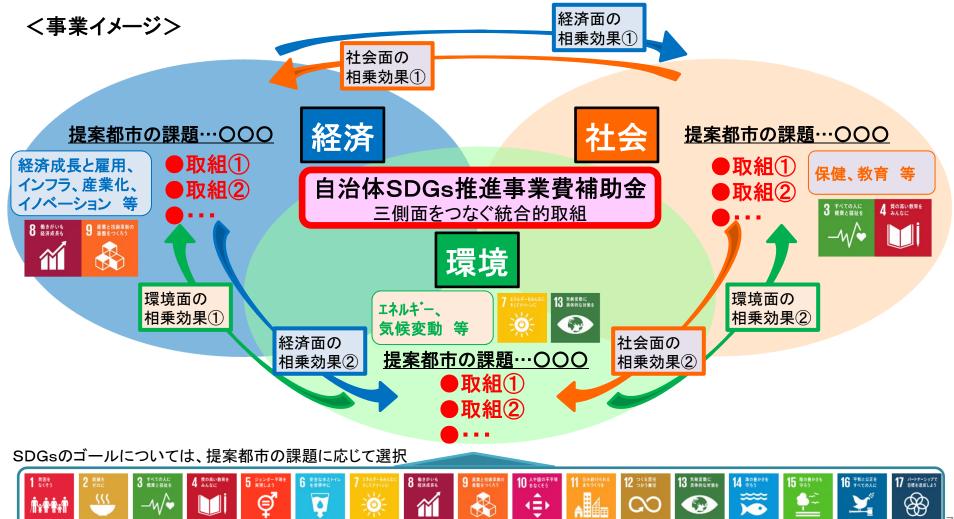
地方創生 の目標

- ✓ 人口減少と地域経済縮小の克服
- ✓ まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

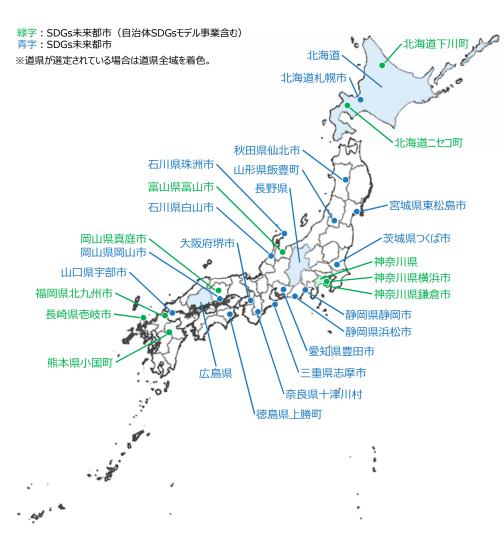
自治体SDGsモデル事業について

モデル事業とは

SDGsの理念に沿った統合的取組により、<u>経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出</u>を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い先導的な取組であって、<u>多様なステークホルダー</u>との連携を通し、地域における<u>自律的好循環</u>が見込める事業を指す。



平成30年度 SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業 選定都市一覧



出典:国土地理院ウェブサイト(https://maps.gsi.go.jp/)の白地図をもとに作成

	A=-1-6-	
	都市名	提案タイトル
(自治体SDGsモデル) SDGs未来都	北海道ニセコ町	環境を生かし、資源、経済が循環する自治のまち 「サスティナブルタウンニセコ」の構築
	北海道下川町	未来の人と自然へ繋ぐしもかわチャレンジ2030
	神奈川県	いのち輝〈神奈川 持続可能な「スマイル100歳社会」の実現
	神奈川県横浜市	SDGs未来都市・横浜 ~"連携"による「大都市モデル」創出~
	神奈川県鎌倉市	持続可能な都市経営「SDGs未来都市かまくら」の創造
デ来	富山県富山市	コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現
事業会む)	岡山県真庭市	地域エネルギー自給率100% 2030"SDGs"未来杜市真庭の実現 〜永続的に発展する農山村のモデルを目指して(私がわたしらしく生きるまち)〜
含む	福岡県北九州市	北九州市SDGs未来都市
9	長崎県壱岐市	壱岐活き対話型社会「壱岐(粋)なSociety5.0」
	熊本県小国町	地熱と森林の恵み、人とのつながりがもたらす持続可能なまちづくりを目指して
	北海道	北海道価値を活かした広域SDGsモデルの構築
	北海道札幌市	次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市・ 「環境首都・SAPP_RO」
	宮城県東松島市	全世代グロウアップシティ東松島
	秋田県仙北市	IoT・水素エネルギー利用基盤整備事業
	山形県飯豊町	農村計画研究所の再興 『2030年も「日本で最も美しい村」であり続けるために』
	茨城県つくば市	つくばSDGs 未来都市先導プロジェクト
	石川県珠洲市	能登の尖端"未来都市"への挑戦
(0	石川県白山市	白山の恵みを次世代へ贈る「白山SDGs未来都市2030ビジョン」
SDG	長野県	学びと自治の力による「自立・分散型社会の形成」
SDGs未来都市	静岡県静岡市	「世界に輝く静岡」の実現 静岡市5大構想×SDGs
都市	静岡県浜松市	浜松が「五十年、八十年先の『世界』を富ます」
115	愛知県豊田市	みんながつながる ミライにつながるスマートシティ
	三重県志摩市	持続可能な御食国の創生
	大阪府堺市	「自由と自治の精神を礎に、誰もが健康で活躍する笑顔あふれるまち」
	奈良県十津川村	持続可能な森林保全及び観光振興による十津川村SDGsモデル構想(仮称)
	岡山県岡山市	誰もが健康で学び合い、生涯活躍するまちおかやまの推進
	広島県	SDGsの達成に向けて平和の活動を生み出す国際平和拠点ひろしまの取組を加速する~マルチステイクホルダー・パートナーシップによるSDGsの取組の強化~
	山口県宇部市	「人財が宝」みんなでつくる宇部SDGs推進事業 ~「共存同栄・協同一致」の更なる進化~
	徳島県上勝町	SDGsでSHLs(Sustainable Happy Lives) 持続可能な幸福な生活
		※ 教送佐川・ 古区町 村っ 、 ド

平成30年度·令和元年度 SDGs未来都市等 選定都市一覧

平成30年度選定(全29都市)※都道府県・市区町村コード順

都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名
	★北海道	静岡県	静岡市
北海道	札幌市	野 側宗	浜松市
16/再/旦	ニセコ町	愛知県	豊田市
	下川町	三重県	志摩市
宮城県	東松島市	大阪府	堺市
秋田県	仙北市	奈良県	十津川村
山形県	飯豊町	岡山県	岡山市
茨城県	つくば市		真庭市
	★神奈川県	広島県	★広島県
神奈川県	横浜市	山口県	宇部市
	鎌倉市	徳島県	上勝町
富山県	富山市	福岡県	北九州市
工川目	珠洲市	長崎県	壱岐市
石川県 	白山市	熊本県	小国町
長野県	★長野県		

[※]黄色網掛けは「自治体SDGsモデル事業」選定自治体

令和元年度選定(全31都市)※都道府県·市区町村コード順

都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名
岩手県	陸前高田市	滋賀県	★滋賀県
福島県	郡山市	京都府	舞鶴市
栃木県	宇都宮市		生駒市
群馬県	みなかみ町	奈良県	三郷町
埼玉県	さいたま市		広陵町
東京都	日野市	和歌山県	和歌山市
	川崎市	鳥取県	智頭町
神奈川県	小田原市		日南町
新潟県	見附市	岡山県	西粟倉村
令山旧	★富山県	神団目	大牟田市
富山県	南砺市	福岡県	福津市
石川県	小松市	熊本県	熊本市
福井県愛知県	鯖江市	鹿児島県	大崎町
	★愛知県	庇兀岛宗	徳之島町
	名古屋市	沖縄県	恩納村
	豊橋市		

^{※★} はSDGs未来都市のうち都道府県

地方創生SDGs官民連携プラットフォームについて

◆ 内閣府では、我が国におけるSDGsの国内実施の促進及びそれに資する「環境未来都市」構想を推進し、より一層の地方創生につなげることを目的に、地方自治体・地域経済に新たな付加価値を生み出す企業・専門性をもったNGO・NPO・大学・研究機関など、広範なステークホルダー間とのパートナーシップを深める**官民連携の場**として、平成30年8月31日に地方創生SDGs官民連携プラットフォームを設置した。



SDGsの達成と持続可能なまちづくり(経済・社会・環境)による地方創生の実現

官民連携による先駆的取組(プロジェクト)の創出

活動内容

1.マッチング支援

研究会での情報交換、課題解決コミュニティの形成

2. 分科会開催

会員提案による分科会設置課題解決に向けたプロジェクトの創出等

3. 普及促進活動

国際フォーラムの開催、展示会への出展 メールマガジン発信、プラットフォーム後援名義発出等

プラットフォーム役員

会 長:北橋 健治 北九州市長

副会長: **一般社団法人日本経済団体連合会**

幹事:村上周三

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 理事長

幹事:**蟹江憲史**

慶應義塾大学SFC研究所xSDG・ラボ 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授

プラットフォーム会員数(令和元年5月末時点)

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム会員数は724団体

【会員内訳】

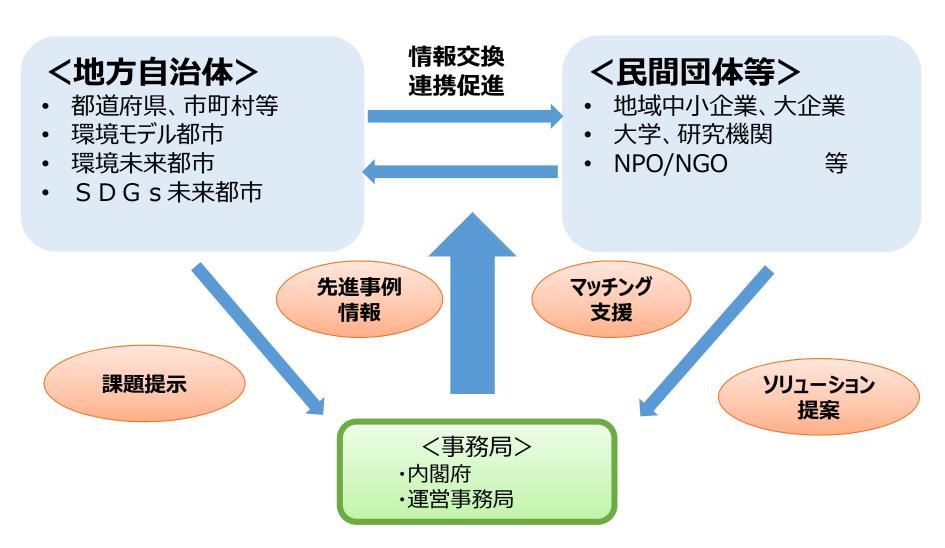
1号会員(地方公共団体)・・・274団体

2号会員(関係省庁) ・・・12団体

3号会員(民間企業等) ・・・438団体

地方創生SDGs官民連携プラットフォームについて(マッチング支援)

◆ 将来像を実現するための課題と、それを解決するノウハウや知見の共有が進むよう、プラットフォームが情報共有の基盤となり、官民(官同士、民同士の場合もあり)の情報共有を促進。



地方創生SDGs官民連携プラットフォームについて(分科会開催)

◆ 会員からのテーマ提案にもとづき分科会を設置。**異分野連携による新たな価値の創出**や、共通する課 題に対する**官民連携を促進、地方創生に資するプロジェクトを創出**。

令和元年6月末時点で25分科会が設立され、官民連携に向けた取組を実施している。

将来像からバックキャストのテーマ例

健康長寿

人生100年時代に長く活 躍するためには?







地域資源

活用

企業のビジネスを通じて、地域課題を解決す る官民の共創事業モデルを創出 -食·農、森林、海洋資源 等

教育

誰もが質の高い教育を受 けるためには?







地域課題を民間企業等の技術・ノウハウで 解決するモデルを創出

--Society5.0、AI·IoTの活用 等

課題解決に向けた共通の課題のテーマ例

働き方

機会平等

全国どこででも高い生産 性を発揮するためには?

誰もが等しく職を得る社会

を築くためには?





₫"

金融(地 域金融)

地域課題を解決する事業に対するファイナンス支援のモ デルを創出 ソーシャルインパクトボンド・ファンド・ESG等

人材 育成 課題解決に貢献する地域のアントレプレナー シップを育成するモデルの創出 ―ローカルベンチャー 等

プラット フォーム

課題と解決策をマッチング(イノベーション)する パートナーシップモデルの創出 ―フューチャーセンター、リビングラボ等

地産

地域の資源を生かして経 済を潤すためには?



Ďŧŧi



普及・ 学習

多くの人がSDGsを理解し、達成に向けた行動 を起こす普及・学習モデルの創出 ―シンポジウム、コミュニケーションツール等

多様な主体の水平的連携により、新たな価値創出 及びコンソーシアムの形成

官民連携で課題解決を図るプロジェクト創出

地方創生SDGs官民連携プラットフォームについて(普及・展開)

- ◆ 各種シンポジウム・セミナー・展示会等の機会を活用した普及促進。
- ◆ 会員が開催するシンポジウムやセミナーに対する、本プラットフォームの後援名義の発出等。
- ◆ ホームページ等による優良事例や関連施策の情報発信等。

プラットフォーム総会及び関連イベントの開催 -

プラットフォームへの加入促進、官民連携による具体 プロジェクト創出を目的に、**地方創生SDGs官民** 連携プラットフォーム総会及び関連イベントを開催

●第2回総会及び関連イベントについて

主催: **地方創生SDG s 官民連携プラットフォーム** 日時: **令和元年8月26日(月)** 13:30~19:00

会場:TKPガーデンシティ品川

来場者対象: **地方創生SDG s 官民連携プラット**

フォーム会員





第1回総会の様子

国際フォーラムでの取組の普及・展開

国内外の各都市や有識者に登壇いただき、世界共通の課題である環境問題・超高齢化の課題解決に向けて議論する国際会議を開催。

●第1回 地方創生SDGs国際フォーラム

(平成31年2月)



都市によるステージイベント



パネルディスカッション

メールマガジン配信

会員主催のSDGsイベントの情報等の発信や課題解決に向けた技術・ノウハウの確認照会

後援名義

会員主催のSDGsに関するイベント・講演会に対し、後援 名義を発出し開催を支援

地方創生に向けたSDGs金融の推進のための基本的な考え方

報告書構成

I.はじめに

- 1. 本報告書の背景・目的
- ①地方創生をめぐる現状認識
- ②地方創生に向けたSDGs達成の取組の現状
- ③地方創生SDGsの達成に向けた地域事業者、地方公共団体並びに金融機関の役割の重要性
- ④SDGs金融の現状と地方創生への展開
- ⑤地方創生SDGs金融を通じた自律的好循環の形成
- 2. 地方創生SDGs達成に向けた取組の現状
- ①政府におけるSDGs達成に向けた取組
- ②内閣府におけるSDGs達成に向けた取組

II.地方創生に向けたSDGs金融の推進のための基本的な考え方

- 1. 自律的好循環の実現に向けた各ステークホルダーに求められる役割
- ①地方公共団体
- ②企業
- ③地域金融機関(地域銀行・信用金庫・信用組合・農漁協・大手銀行等の支店含)
- ④機関投資家·大手銀行·証券会社 等
- ⑤市民等
- ⑥政府

2. 地方創生SDGs金融フレームワークの構築

- ①フェーズ1:地域事業者のSDGs達成に向けた取組の見える化
- ②フェーズ2:SDGsを通じた地域金融機関と地域事業者の連携促進
- ③フェーズ3:SDGsを通じた地域金融機関等と機関投資家・大手銀行・証券会社等の連携促進

Ⅲ.今後の展開

地方創生SDGs金融フレームワーク



フェーズ1 地域事業者のSDGs 達成に向けた取組の見える化

- 「登録/認定制度」を構築し、地域事業者のSDGs達成に向けた取組を見える化
- 登録/認定制度を通じて幅広い地域事業者の参画を促し、SDGs達成に取り組む主体のす子野を拡大

フェーズ2 SDGsを通じた地域 金融機関と地域事業者の連携促進 ・ 地域金融機関が、与信先企業に対し

- 中央金融機関が、争信光正業に対してモニタリング、フォローアップを実施することで育成・成長に貢献
- モニタリングを通じて得られた知見を自らの目利き力やコンサルティング能力等の強化に活かす

フェーズ3 SDGsを通じた地域 金融機関等と機関投資家・大手銀行・証券会社等の連携促進

- フェーズ2の実践を通じて優れた取組を 行った地域金融機関を政府が表彰する 制度を創設
- 機関投資家等と地域金融機関の協調・協業を推進

今後の展開

- ・ 地域の課題解決に向けては、SDGsの取組が一層推進されることが望ましい。そのためには、金融機関を含む多様なステークホルダーとの連携により民間資金が地域社会に供給されることが必要である。また、世界的にも機関投資家等が投融資の判断材料の一つとしてSDGsを捉える動きが急速に拡大している。このため、政府が地方創生SDGsに積極的に取り組む事業者や地域金融機関に適切なインセンティブを与え、地方創生SDGs金融を形成していくための取組を推進していくことが期待される。
- ・「地方創生SDGs金融フレームワーク」は、企画の概要を示したもので、具体化に向けて検討すべき課題が多々残されていることから、引き続き詳細の検討を進めることが求められる。また、フレームワークの実現には多様なステークホルダーの参画が必要不可欠であり、今後の検討にあたっては、意見交換等を通じ、より実現性の高い制度にする必要がある。

地方創生に向けたSDGs金融を通じた自律的好循環の全体像

SDGsを原動力とした地方創生に取り組む企業・事業の拡大

